平成28年３月期 第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月９日

上場会社名　株式会社メッセージ　上場取引所　東

コード番号　2400　URL　http://www.message-group.jp/

代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）佐藤　俊雄

問合せ先責任者　（役職名）取締役執行役員　財務経理部長（氏名）岩本　隆博　ＴＥＬ　086-242-1551

四半期報告書提出予定日　平成27年11月12日　配当支払開始予定日　―

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無　：有　（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成28年３月期第２四半期の連結業績（平成27年４月１日～平成27年９月30日）

（1）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年３月期第２四半期	40,210	2.4	4,308	22.3	4,107	22.4	2,713	42.3
27年３月期第２四半期	39,281	7.9	3,524	12.3	3,355	9.9	1,906	12.1

（注）包括利益　28年３月期第２四半期　2,805百万円（38.8%）　27年３月期第２四半期　2,021百万円（13.8%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年３月期第２四半期	135.13	―
27年３月期第２四半期	94.93	―

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年３月期第２四半期	59,306	31,101	50.8	1,501.69
27年３月期	59,106	29,600	48.6	1,431.39

（参考）自己資本　28年３月期第２四半期　30,153百万円　27年３月期　28,742百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年３月期	―	0.00	―	65.00	65.00
28年３月期	―	0.00			
28年３月期（予想）			―	65.00	65.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．平成28年３月期の連結業績予想（平成27年４月１日～平成28年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,000	2.6	7,600	3.4	7,200	3.4	4,200	△3.5	209.16

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無

新規　－社　（社名）、除外　－社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　有

（注）詳細は、添付資料Ｐ．４「２.サマリー情報（注記事項）に関する事項（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　有

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（注）詳細は、添付資料Ｐ．４「２．サマリー情報（注記事項）に関する（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年３月期２Ｑ	20,080,000株	27年３月期	20,080,000株
②　期末自己株式数	28年３月期２Ｑ	74株	27年３月期	74株
③　期中平均株式数（四半期累計）	28年３月期２Ｑ	20,079,926株	27年３月期２Ｑ	20,079,939株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

平成27年11月18日（水）にアナリスト及び機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（セグメント情報等） …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間において、当社は、当社の子会社である積和サポートシステム株式会社が運営する施設「Ｓアミーユ川崎幸町」で、昨年、２か月の間に３名の入居者様がベランダから転落され死亡されたこと、及び今年にはいって入居者様に対する虐待等が発生したことにより、多くのマスメディアに報道されました。「Ｓアミーユ川崎幸町」においては、これらの事案に対して行政から監査・実地指導をうけており、近々何らかの行政処分が行われる見込みとなっております。

また、当社が運営する施設「アミーユ豊中穂積」で、当該施設の従業員が入居者に対して虐待を行ったこと及び虐待を適切に防止するための処置が不十分であったこと等について豊中市から同施設に対し６か月の新規受入停止の行政処分を受けております。

当社グループは、これまで報道のあった一連の件について大変重く受け止めており、当社グループの施設運営に問題がなかったかを検証してまいりました。当社グループは、このような問題を二度と起こさないようにするため、かかる調査にあたり、専門的及び客観的な見地から、各施設の運営状況及び業務管理体制、経営陣によるコーポレートガバナンス体制の構築等の問題点の把握、当該問題の発生原因の徹底究明、再発防止策の検討等が必要であると判断し、株式会社メッセージ第三者調査委員会（以下「第三者委員会」といいます。）を設置し、現在調査中であります。

現時点では、平成27年12月上旬を目処に、第三者委員会による調査結果を公表する予定です。

このような状況のもと、当社グループにおいては、介護付有料老人ホーム（アミーユ等）は、平成27年９月末時点での入居率は95.8％（前年同期比0.5%減）、サービス付き高齢者向け住宅（Ｃアミーユ）も、計画通りに開設をしており、平成27年９月末時点での入居率は88.5％（前年同期比3.6％増）（開設後１年を経過した既存物件では89.8％）となっております。

また、㈱ジャパンケアサービスを中心とした地域包括ケア事業においても、当社グループ全体における経営資源を生かした運営が効果を発揮しつつあります。今後も「自分が望む場所（住まい）で、その人らしい暮らし」が継続されるように、地域包括ケア事業に注力してまいります。

当第２四半期連結会計期間末における、当社グループによる事業展開は、Ｃアミーユ４棟を新たに開設し、当連結会計年度末の「アミーユ等」の施設数は、直営162施設、ＦＣ24施設、合計186施設、総入居定員は9,880名、「Ｃアミーユ」の棟数は合計121棟、総入居定員7,115名となっております。また、当第２四半期連結会計期間末の「地域包括ケア事業」の事業所数は、訪問介護272、居宅介護支援205、通所介護49、定期巡回随時対応型訪問介護看護61、夜間対応型訪問介護42、訪問入浴23、小規模多機能型居宅介護24、その他含む合計716か所となっております。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間の営業収入は40,210百万円（前年同期比2.4％増）、営業利益は4,308百万円（同22.3％増）、経常利益は4,107百万円（同22.4％増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,713百万円（同42.3％増）となりました。

① アミーユ事業

既存施設の入居率が競争激化により伸び悩んだこと、介護報酬改定による保険収入の減少、及び職員採用のために資格保有者の賃金を上げたことによる労務費の増加等により、当第２四半期連結累計期間において、営業収入は18,034百万円（前年同期比1.7％減）、セグメント利益は1,828百万円（同30.2％減）となりました。

② 地域包括ケア事業

当第２四半期連結累計期間において、４棟の「Ｃアミーユ」を新たに開設し、既存物件の入居率が引き続き好調でありました。また、「定期巡回随時対応型訪問介護看護」の営業収入が増加したことにより、営業収入は19,938百万円（同5.5％増）、セグメント利益は1,436百万円（前年同期は85百万円の損失）となりました。

③ 給食事業

当第２四半期連結累計期間において、４棟の「Ｃアミーユ」を新たに開設し、入居者数が増加し食事の利用者数が増加したこと等により、営業収入は3,453百万円（前年同期比9.3％増）、セグメント利益は783百万円（同2.8％増）となりました。

④ その他

当第２四半期連結累計期間において、主に介護用品、施設備品の販売が減少したこと、人件費の減少等により、営業収入は1,304百万円（前年同期比2.5％減）、セグメント利益は249百万円（同14.5％増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

① 資産

当第２四半期連結会計期間末における流動資産は27,488百万円となり、前連結会計年度末に比べ952百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が765百万円増加したことによるものであります。固定資産は31,812百万円となり、前連結会計年度末に比べ751百万円減少いたしました。この結果、総資産は59,306百万円となり、前連結会計年度末に比べ199百万円増加いたしました。

② 負債

当第２四半期連結会計期間末における流動負債は12,498百万円となり、前連結会計年度末に比べ554百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が1,047百万円増加したこと及び未払法人税等が130百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は15,706百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,855百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が1,627百万円減少したこと等によるものであります。この結果、負債合計は28,204百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,301百万円減少いたしました。

③ 純資産

当第２四半期連結会計期間末における純資産合計は31,101百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,500百万円増加いたしました。この結果、自己資本比率は50.8％（前連結会計年度末は48.6％）となりました。

④ キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ755百万円増加し、14,206百万円となりました。当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は3,044百万円（前年同期比14.1％増）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が4,129百万円（同21.3％増）となったこと及び法人税等の支払額が1,462百万円（同26.7％減）となったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は212百万円（前年同期は496百万円の獲得）となりました。これは主に有形固定資産の取得に171百万円（同22.7％増）支出したこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は2,076百万円（前年同期比34.7％減）となりました。これは主に配当金の支払額が1,304百万円（同22.6％増）となったこと、長期借入金の返済に379百万円（同39.4％減）支出したこと等によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、営業収入81,000百万円、営業利益は7,600百万円、経常利益は7,200百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は4,200百万円を予想しておりますが、「１．当四半期決算に関する定性的情報（１）経営成績に関する説明」に記載しました一連の報道により、今後の入居率等が悪化した場合には当社グループの業績に影響を及ぼす可能性がございます。今後、公表すべき事項が判明した場合には、速やかに適時開示を行ってまいります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号　平成25年９月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号　平成25年９月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第７号　平成25年９月13日）等を第１四半期連結累計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第２四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成27年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成27年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,649	14,415
受取手形及び営業未収入金	11,092	11,282
原材料及び貯蔵品	37	32
前払費用	1,247	1,261
その他	523	511
貸倒引当金	△14	△14
流動資産合計	26,536	27,488
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,267	10,969
車両運搬具（純額）	5	0
工具、器具及び備品（純額）	143	129
土地	1,956	1,956
リース資産（純額）	6,658	6,505
有形固定資産合計	20,032	19,562
無形固定資産		
のれん	4,461	4,315
その他	722	695
無形固定資産合計	5,184	5,010
投資その他の資産		
差入保証金	5,310	5,210
その他	2,067	2,063
貸倒引当金	△31	△34
投資その他の資産合計	7,347	7,239
固定資産合計	32,564	31,812
繰延資産		
社債発行費	5	4
繰延資産合計	5	4
資産合計	59,106	59,306

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成27年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成27年９月30日）
負債の部		
流動負債		
営業未払金	833	802
1年内償還予定の社債	120	120
短期借入金	897	1,945
未払金	3,535	3,483
未払法人税等	1,530	1,399
賞与引当金	872	710
その他	4,154	4,036
流動負債合計	11,944	12,498
固定負債		
社債	115	54
長期借入金	8,085	6,458
リース債務	7,618	7,500
退職給付に係る負債	559	548
資産除去債務	661	669
その他	521	474
固定負債合計	17,561	15,706
負債合計	29,505	28,204
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,925	3,925
資本剰余金	4,167	4,167
利益剰余金	20,683	22,091
自己株式	△0	△0
株主資本合計	28,775	30,184
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△33	△30
その他の包括利益累計額合計	△33	△30
非支配株主持分	858	947
純資産合計	29,600	31,101
負債純資産合計	59,106	59,306

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成26年４月１日 至　平成26年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成27年４月１日 至　平成27年９月30日）
営業収入	39,281	40,210
営業原価	29,940	30,330
営業総利益	9,341	9,880
販売費及び一般管理費	5,816	5,571
営業利益	3,524	4,308
営業外収益		
受取利息	29	28
助成金収入	19	12
その他	70	15
営業外収益合計	119	56
営業外費用		
支払利息	274	255
その他	14	1
営業外費用合計	289	257
経常利益	3,355	4,107
特別利益		
補助金収入	5	－
事業分離における移転利益	50	21
特別利益合計	55	21
特別損失		
固定資産圧縮損	5	－
特別損失合計	5	－
税金等調整前四半期純利益	3,405	4,129
法人税、住民税及び事業税	1,381	1,327
法人税等合計	1,381	1,327
四半期純利益	2,023	2,802
非支配株主に帰属する四半期純利益	117	88
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,906	2,713

（四半期連結包括利益計算書）

（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成26年４月１日 至　平成26年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成27年４月１日 至　平成27年９月30日）
四半期純利益	2,023	2,802
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	0	－
退職給付に係る調整額	△1	3
その他の包括利益合計	△1	3
四半期包括利益	2,021	2,805
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,906	2,716
非支配株主に係る四半期包括利益	115	88

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成26年４月１日 至　平成26年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成27年４月１日 至　平成27年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,405	4,129
減価償却費	818	772
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△3	3
賞与引当金の増減額（△は減少）	161	△162
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△18	△58
受取利息及び受取配当金	△29	△28
支払利息	274	255
補助金収入	△5	－
事業分離における移転利益（△は益）	△50	△21
固定資産圧縮損	5	－
売上債権の増減額（△は増加）	△475	△193
前払費用の増減額（△は増加）	△94	△9
その他の流動資産の増減額（△は増加）	133	4
仕入債務の増減額（△は減少）	10	△30
未払金の増減額（△は減少）	3	△51
未払消費税等の増減額（△は減少）	131	△193
その他の流動負債の増減額（△は減少）	538	165
預り保証金の増減額（△は減少）	△41	△24
その他	162	188
小計	4,925	4,746
利息及び配当金の受取額	22	20
利息の支払額	△283	△260
法人税等の支払額	△1,994	△1,462
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,668	3,044
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△139	△171
無形固定資産の取得による支出	△64	△38
差入保証金の差入による支出	△78	△25
差入保証金の回収による収入	17	2
投資有価証券の売却による収入	48	－
事業分離による収入	719	23
その他	△5	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	496	△212
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額（△は減少）	△1,300	△200
長期借入金の返済による支出	△626	△379
社債の償還による支出	△60	△60
リース債務の返済による支出	△127	△132
自己株式の取得による支出	△0	－
配当金の支払額	△1,063	△1,304
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,178	△2,076
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△13	755
現金及び現金同等物の期首残高	10,862	13,451
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,849	14,206

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自平成26年４月１日 至平成26年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	アミーユ事業	地域包括ケア事業	給食事業	計				
営業収入								
外部顧客への売上高	18,353	18,901	1,397	38,652	628	39,281	－	39,281
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	1,761	1,761	709	2,470	△2,470	－
計	18,353	18,901	3,158	40,413	1,337	41,751	△2,470	39,281
セグメント利益又はセグメント損失（△）	2,619	△85	762	3,295	218	3,513	10	3,524

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品販売事業及びＦＣ事業等を含んでおります。

２．「セグメント利益又はセグメント損失（△）」の調整額10百万円は、セグメント間取引消去10百万円が含まれております。

３．「セグメント利益又はセグメント損失（△）」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自平成27年４月１日 至平成27年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	アミーユ事業	地域包括ケア事業	給食事業	計				
営業収入								
外部顧客への売上高	18,034	19,938	1,637	39,610	600	40,210	－	40,210
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	1,816	1,816	704	2,520	△2,520	－
計	18,034	19,938	3,453	41,426	1,304	42,731	△2,520	40,210
セグメント利益又はセグメント損失（△）	1,828	1,436	783	4,048	249	4,298	10	4,308

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品販売事業及びＦＣ事業等を含んでおります。

２．「セグメント利益又はセグメント損失（△）」の調整額10百万円は、セグメント間取引消去10百万円が含まれております。

３．「セグメント利益又はセグメント損失（△）」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。